

# JOB REPORT

## 威力発揮、エアーエジェクタシステム

最近のシールド工事現場では立坑が深くなってくると同時に下部のスペースが少ないため、底部に真空・排出の両ユニットを設置することが困難になってきている。そこで、深い立坑でのシールドセグメントの清掃・排泥水にはセパレートタイプのバクアシステムとエアーエジェクタシステムが必要となる。

現在、下図のような方法で東京電力の地下送電用トンネル延長3,280mのセグメントの清掃を行っているが、大変好評をいただいている。

### 納入先

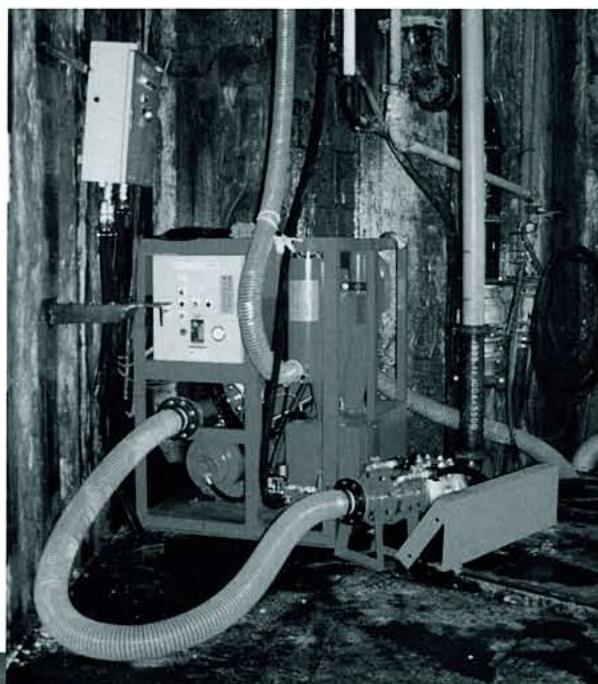
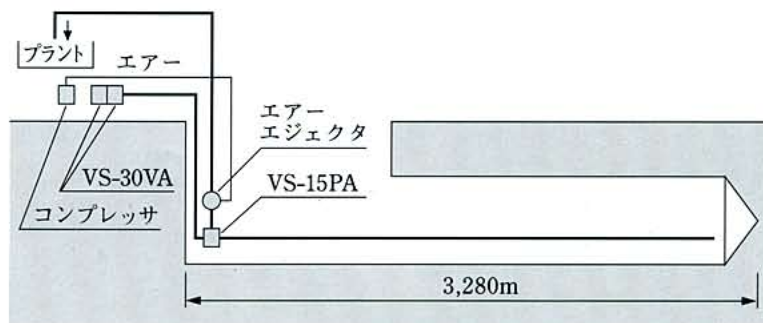
- 大林・三井・鉄建・東急建設共同企業体  
東電大宮JV工事事務所殿

### 使用機種

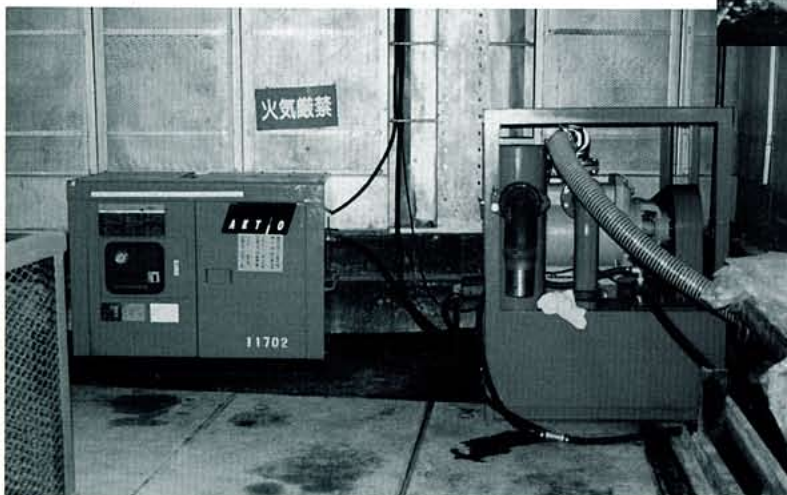
- バクアシステム真空ポンプユニット  
形式 VS-30VA (出力22kW) × 2台  
(吸引低下時より1台増設予定)
- バクアシステム排出ユニット  
形式 VS-15PA (出力11kW) × 1台
- エアーエジェクタ  
形式 VS-AE4 (制御ユニット付) × 1セット
- エアーコンプレッサ  
形式 SMS15S (出力15kW) × 1台
- 一体形バクアシステム (プラントまわりの清掃)  
形式 VS-1508 (真空ポンプ11kW、排出ポンプ5.5kW) × 1台

### 工事概要

- 工 法：泥水加圧シールド
- 掘削距離：3,280m
- シールド径：3,200mm (セグメント内径)
- 立坑深さ：21m
- 吸込配管径：100mm (4吋)
- 吐出配管径：100mm (4吋)
- 地 上 部：横引 50m プラント高さ 3m



▲立坑下部、VS-15PAとVS-AE4



▲立坑上部、SMS15SとVS-30VA